

The Zen Method (3次元処方) と乳癌のケース

由井 寅子ホメオパシー博士

【摘要】

この論説は、由井寅子博士が考案したホメオパシーのメソッド、Zenメソッドによって、癌など難治の病理も、速やかに穏やかに治癒に導く事ができる事を叙述している。

Zenメソッドは、体、心、魂という三つのレベルにホリスティックな方法で作用する三次元処方である。患者は、ポータライズされたホメオパシーレメディ、マザーティンクチャー、ティシューソルトが処方される。

キーワード：zen method、乳癌

序文

2014年2月、43歳女性のクライアントが、左胸の癌性腫瘍（ステージ III b）を発症した。

39歳の時点で、彼女は、胸に塊を認識する事ができた。2年後、彼女は、振戦のため、由井ホメオパシー博士に相談した。そして、改善した後、その治療を止めた。

43歳の時、彼女は乳癌と診断され、2014年4月に再び由井ホメオパシー博士に相談した。

腫瘍を覆っている表面は、硬く、こわばっていて、不均等で、赤黒い色（図4を参照）。

胸に突き刺す痛みがあった。腋の下のリンパ節が腫れていた。ここ5ヶ月以来、左肩甲骨に痛みがあった。45度までしか腕を上げることができず、とても痛い。胸骨のあたりが痛む、大きい骨、右大腿骨骨頭が痛む。（肩甲骨の中心に）ひどい痛みがある；このため、仕事を退職せねばならなかった。これは悪化し、睡眠中、寝返りを打つことができない。腕の重さに耐えることができず。歩く時は、ウエストの辺りに手を置かねばならなかった。骨への転移の疑いがあった。胸の痛みは、怒りによって悪化。ラッセル音があり、あたかも窒息するよう感じる。腹部がボコボコ言う。

彼女は、独裁的な人々が好きでなかった（彼女の父親がそうだった）。子供の時、彼女は学校に行くのがスキでなかった。彼女は、教師や両親が期待する様に生きたくなかった。彼女の経歴から、彼女は何度か裏切られ、この感情が留まっている様に見受けられた。彼女は、娘が1歳8ヶ月の時に夫と離婚した。彼女は、両親の家に戻り、働き始めた。

過去の病歴

水疱瘡 (3歳)、頭の怪我 (5歳)、子宮内膜症と線維筋痛症 (28歳)、おたふくかぜ (33歳)

抗生物質、解熱剤 (アセトアミノフェン)、痒みにヒスタミンを摂っていた。

家系の病歴

母：黄斑変性症、腰痛、股関節痛、咳

父：痛風、高血圧、酒、肝炎

母母：胆のう、白内障 父母：たぶん心不全

母父：脳梗そく ぜんそく

本人の弟：股関節痛

婦人科系の経歴

初潮 13 歳。月経は塊があり痛みがあった。月経中は、下腹部と背中に強い痛み

由井博士 (Y) : 左胸がおかしいと思ったのは何月ぐらいなの？

クライアント (P) : これが去年の 9 月ぐらいだったんですけど

Y : 黄色いし腫れてるよ。これが 2013 年 9 月には腫れていたね。

P : でかなり全体が固くなっていて。怒りをバーって出すこともあるんですけど、出したあとにものすごく疲れるので、怒りすぎたので肝臓が痛いので、1 食抜きましようみたいなことをしたりだとか。

あとそれからおっぱいが痛くなるようになってからは、ものすごく怒りを出した後はおっぱいが突き刺さるように痛くなったりするので。自分のことを自分の状況を見て、これからのことを考えると、涙もろくなっていくところがあるんですけど。

Y : どんどん泣かないと。今まで溜めたぶんをね。それで弱音を吐ける人間にならないとダメ。

そうしないとガンは治らんでね。さてどこが辛い？

P : 今一番痛いのは、左側の肩甲骨の脊椎側。打撲を受けたみたいな痛みがあります。

一番最初にその辺りが痛み出したのは、暮だったんですけど。

Y : これからしなければいけないことは、どうやって自分を大事にするかってことを。ちょっと今まで怠っていたから、これから大事にするって宣言しなければいけない。

体にむかってね、心にむかってね。

だから心にむかって宣言するということは、自分が思っていること自分の本当に正直な気持ちは何なのか？っていう 1 回聞くこと。

体のほうは朝起きて日拝行をやってください。

そしてりんごを入れてのらぼう菜や小松菜を入れてスムージーを作っていって毎朝このぐらいの量を飲むことをやってもらいたいね。

なるべくリラックスして、できない時もあってもいいし。

今こうゆう状態だから無理だよなって思ったらできなくても自分を許すこと。いいね。

P : はい。ありがとうございます。

こうしてまた由井先生に診てもらえるようになって良かったです。3 年前のあの頃「自分のインナーチャ

イルドに目を向けて自分を許してください」と言われて「それができれば苦勞しないよなあ」と心の中で思っていました。

Y: そういう正直な気持ちや弱音を吐くこと。そして助けを求めることはとても大切です。

TBRによるレパトリー化

23 Apr 2014

1: 2052# 4. Modalities- 1. Modalities - 5. Situation & Circumstance
- Movement (moving, motion) - affected parts :
2: 251# Trunk (torso) -> 4. Back-> Scapula (shoulder-blade):
3: 1166# Glands -> Bruise (contusion), pain as if from a:
4: 1242# 3. General - 3. Generals - 3. Bones (& periosteum) in
general - Stitching (piercing, pricking):
5: 1274# 3. General - 3. Generals - 4. Joints in general -
Awkwardness of joints :
6: 789# 3. General - 1. Mind (& Disposition) - 1. Mind -
Hopelessness(despair) :
7: 777# 3. General - 1. Mind (& Disposition) - 1. Mind - Nervous
(excitable) :

23 Apr 2014

順位	レメディ	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7
1	Sep.	7	21	1	4	3	4	4	2	3
2	Puls.	7	17	3	2	1	4	3	3	1
3	Sulf.	7	15	2	3	1	1	3	3	2
4	Ruta.	7	13	2	2	3	3	1	1	1
5	Bell.	6	19	3	3		4	3	2	4
6	Chin.	6	16	3	4		3	1	2	3
7	Caust.	6	16	2	3	1	4	3	3	

図1：レパトライゼーション

レパトリーの結果

ルブリックの全てをカバーするレメディは Sep, Puls, Sulph, Ruta のみ。その中で度数の合計が一番低いがこの方の性格的な特徴は Ruta.と一致します。また Ruta は、乳癌より骨癌に合います。

マテリア・メディカ参照

Ruta graveolens

‘一日中、腹を立てがちで猜疑心が強い。無二の親友のことがもう信じられなくなり、常にだまされていると思ひ込んだ(aft. 40 h.).’(3)

この方は夫と元彼に裏切られた気持ちを持っています。それが癒えていないので Ruta.の信じていた人に裏切られた気持ちが合うと思います。

Calcarea phosphorica

横行結腸のあたりに激痛、午後 3 時。左乳房にクルミのような腫瘍が一つ。左乳房にクルミのように硬い部分があり、圧迫すると強く痛む。横行結腸のあたりに激痛、30 分間、午後 3 時。腸内に痛み、上行結腸と横行結腸のあたりが最も強く痛む。心臓部に痛み、時折激しくなる。

精神：記憶力減退 (Allen 645：記憶力があまりに欠如していることに気付いた。よく知られたレメディーのよく知られた諸症状が思い出せない (12 日目) (出典 9))

体：多くの骨の問題、ししの成長痛、足が弱って歩けない (Allen のマテリア・メディカには 74 件の骨の症状が挙げられている)

レメディー

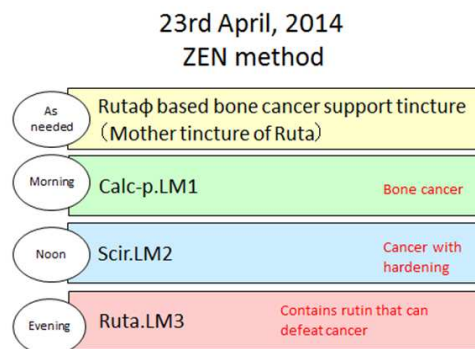


図 2：2014 年 4 月 23 日

「レメディーがいっぱい入っているじゃないか、これはホメオパシーではない」とクラシカルホメオパスはよくそう言いますが人の命を預かっているのですから骨の癌に良い病理のレメディーとマザーチンクチャーと一緒にして与えることは患者を救うことになります。このようなマザーチンクチャーのコンビはクーパーやラデマッチャーを学び、レメディーのコンビはハーネマンの MMP と CK の MM から調査しコンビにしています。

フォローアップ：2014 年 8 月 1 日

Y：すごいよ。私、傷口見たときにいい感じになってなと思って。(図 4 参照) 前よりか全然いいですよ。あなたがね心をちゃんとやってくれているんで、こいう風に動いたんだなと思って。

やっぱりインナーチャイルドの癒してとって大事だと思って。

P：心の背景がすごく大きかったです。やっぱりどれだけ自分が心の中に感情を出さなかったかとか、自分で私の中にこんな感情あったんだというのに気付きました。それが本当に出たあー良かった、本当の自分の感情を出せたんだみたいなことがありました。

Y:素晴らしい。

P: 10日ぐらい前に、ハタと起き上がってみようって感じがして、これだけ背中痛みがなくなってきたんだったら起き上がるかもって思って。その3日、4日後くらいには「ちょっと立ってみました」って。短い距離でトイレに行けたり、今はシャワーを使うことが出来るんです。前に先生の相談会を受けた時には「腕があがりません」って言っていたのが、普通にあげられるんですよ。

本当にこんなに自由になっちゃっていいのみたいな感じで、本当に人間の自己治癒力って素晴らしいものがあるんだなって。

Y: えらかった。ようやく。本当によろ自分を見つめて、弱音を出せて。貴女の報告を聞いて本当に嬉しいです。

P: その通りです。私もとても嬉しいです。日拝行も、今は起き上がるようになったので胸をバーって開けましてお腹から丹田まで朝の光を一心に受けるように今しているところです。

2か月前に医師から余命3ヶ月ですって言われたよって母が聞いて帰ってきた時には、気分も落ち込みました。こうやって起き上がって、自分の足でもう一度立ってというふうなところまで来ました。心に焦点を当てた後、自分の感情を表現する事がいかに大切か認識する事ができました。

今は本当にこれが、先生が仰った「症状はありがたい」ということなんだなって理解できます。

レメディー

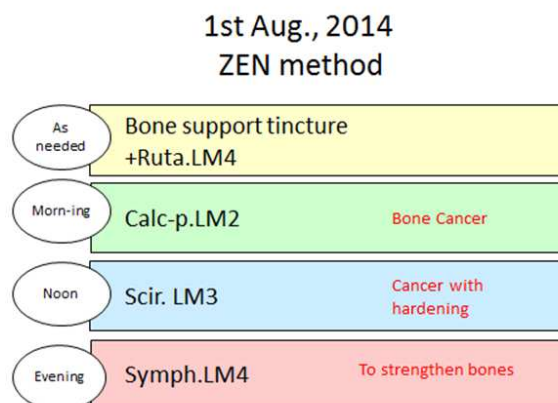


図3：2014年8月1日

Symphutum officinalis のマテリア・メディカ

‘骨芽細胞を再生させ、骨化のプロセスを促進するレメディー。骨折部位の炎症や機能喪失。骨膜の鋭い痛み。骨粗しょう症、骨の結合不良。仮骨生成を促進する。’ (8)

Symph. の治療法の歴史は、骨癌の多くの症例の臨床治療に驚く程富んでいる。

骨膜と骨構造に特別の治療作用をして、骨折の際に仮骨の形成を促進し、

複雑骨折でなかなか接合しない骨にさえも癒合をもたらす。 (9)

フォローアップ：2014年9月19日

Y：みたら患部がずいぶん枯れている感じがするんだけど、どうだろうか。(図4参照)

P：すごく枯れてきたと思います。前は完全にいつときは、胸郭に張り付いていました。今は、本当にこう、乳腺が全部脂肪が吸い取られた感じです。

Y：骨の痛みはどうですか？

P：骨の痛みは本当になくなりまして、その後私、階段も上れるようになって、今まではベッドの上で一人で食事をしてきたんですけども、あちこち歩けるようになって、動けるようになって、ついに二階のダイニングにあがりまして、それ以来、食事は家族のところで食事をしています(拍手)。

Y：外に出てんの？

P：そうなんです。10日くらい前ですかね、家のまわりの散歩に出るようになりました。最初、5分から始めて、15分とか20分と歩けるようになり、今日はついに40分くらい外をうろろして、そうやって外も歩いて出られるようになりました。今日も外に出てみて、「あー、いつのまにか秋の雲になってる」とか、こんなふうに見て歩くことって、1年前はぜんぜんなかったと思います。

Y：凄いな～。だから、いままでね、あたりまえにできたこと、たとえば歩くことなんて当たり前だったでしょ。それであたりまえに手も、箸も持ててね、やれてたことができなくなったじゃない。癌になって最初の方ね、そのときに、本当にこの当たり前にあることを、本当に感謝できるようにね、なれたという、そういう人間は、やっぱ素晴らしいと思うんですよ。

P：はい。

Y：うん。だから、癌になって大変だったと思うし、ひところはもう希望もない、もう私は余命3ヶ月だからと思ってさ、すごい辛いときがあったと思うんだけど、それを徐々に自分が癌を受け入れて、ちゃんと食事生活をしよう、ちゃんとこちらから言われたこともやろう、ってやっていくうちに、この自分の自己治癒力が、あなたに寄り添うようにさ、がんばってくれているのがわかるよね。

P：すごくよくわかりますね。そこはありがたかったと思います。

Y：それで非常に雰囲気柔らかくなったよね。そういうような感じのあなたではなくなったよね。

P：ありがとうございます。癌になってわかったときも、あまり恐怖がなくて、これはちゃんとやれば治せると思いました。父も、おまえがやりたいようにやったらいいよ。僕はいくらでもサポートするから、今日は何をやるんだ、どうやってやりたいんだと聞いてくれるようになりまして、ああ、すごい頑固で頑なな人だと思っていたけど、そうじゃないんだな、すごく愛情深い人で、何が本当にいいのかということ時間をかけながら、折り合いを見つけていってくれるんだなという感じがします。

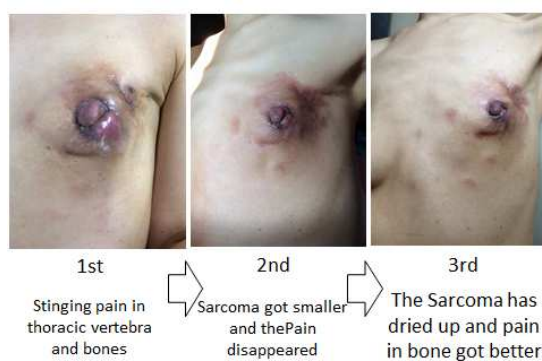


図4：2014年4月、8月、9月の病巣の様相

2014年10月15日、クライアントは以下のレポートを送ってきた：

Change after consultations

1 Oct Tumor marker declined largely than the last time
Tumor marker of breast cancer declined largely and became standard value.
Tumor marker of general cancer also decreased rapidly to almost the half

Tumor marker	8 May 14 (last time)	1 Oct 14 (this time)
CA15-3(Tumor marker of her breast cancer) (normal upper value: 27.0)	37.7	27.1
CEA(Tumor marker of general cancer) (Standard upper value: 5.0)	40.1	22.3

Her doctor said 'It is normally impossible that tumor marker declined without taking anti cancer drug' and 'It may be because of your spirit to recover from bedridden. But I can't believe the decline of tumor marker.' Herself 'I have self healing power and it is totally natural that my disease is cured!'

図5：2014年10月1日病院での検査結果

クライアントはこの様に言った「往診の先生からは「抗ガン剤を取らずに腫瘍マーカーが下がるなんてことは常識から言ってありえない。医師仲間にシェアしようものなら、患者にデータを隠されているダメな医者呼ばわりされるのがオチだ。」

私が寝たきりから回復したことについては「精神論ということもあるだろう、と納得しようと思ってたけど、腫瘍マーカーが下がるのはあり得ない。今回ばかりは本当に納得しがたい」とのことです。

呼吸時のラッセル音は前回の相談会の1週間後くらいには消えました、目立った喀痰や咳もありませんでした。「治らないわけがない！と日々、療養に勤しんでいます。」

ルチンとカルシウム

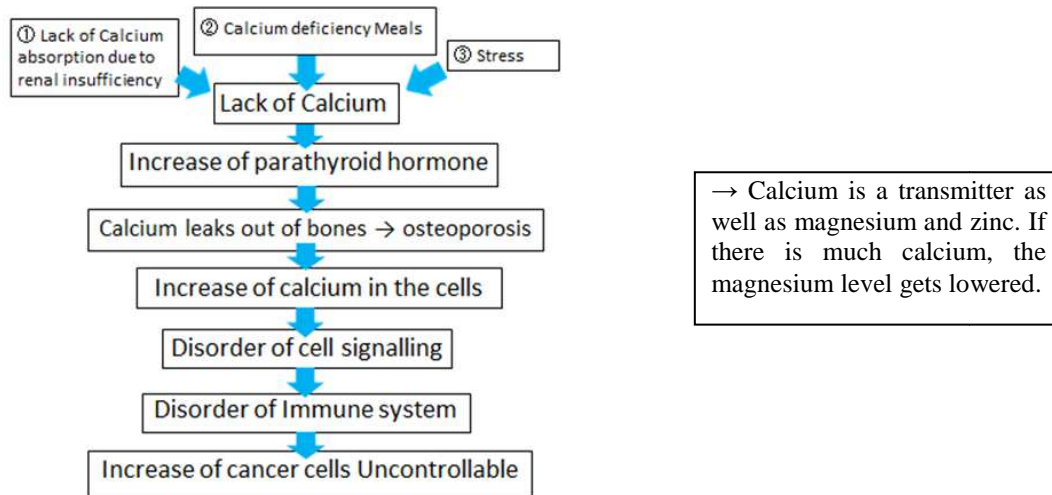
ルータの活性成分であるルチンは、抗酸化作用や抗炎症作用をもち、げっ歯類モデルにおいて酸化障害を低減することでも知られている。更に、ルータは、DNA鎖が破壊されないよう保護し、突然変異生成

を阻害する。

一方、リン酸カルシウムは、ホスホリパーゼを活性化する。ホスホリパーゼは、膜結合分子を切断するが、これがプロテインキナーゼCを活性化させるのである。(5)

バナジーの父子の研究ではRutaとCalc-pのコンビネーションが最終的に癌細胞の細胞死および自然退縮、もしくは癌細胞の成長の長期的な停止をもたらすと考えられている。

カルシウム不足と癌



カリフォルニア大学の研究グループがカルシウムの摂り方と大腸・直腸のガンの起こり方を調査(11)

日本古神道では朝日を目の虹彩に直接入れる日拝行（太陽信仰）を毎日やることで心身ともに力がみなぎると言われている。

結論：Zenメソッドによる癌へのアプローチ

多くの癌のケースで経験したことは乳癌とか表面に癌が現れた時にはすでに骨が侵されていることが多かったということです。ホメオパスは日々切磋琢磨し目の前にいるクライアントの症状とそこに潜む未だ現れていない深い病理を知り、喋り出されていないクライアントの苦悩が表に出るように仕向けるように魂の琴線に触れる言葉かけをしなければならない。

そうできるためにもホメオパス自身が感情が抑圧され未解決なままで適応して生きて来た大人の中のインナーチャイルドを癒さねばならない。治療家に必要なものは人類愛と技術の両方である。

ホメオパシーの恩恵が全てに降り注ぐことを！万物生命、その存在自体に感謝し、命そのものを生きられんことを！

参照

1. Hahnemann S, Organon der Heilkunst 6 Auflage, (Japanese version, translated from the original German version), Japan: Homoeopathic Publishing Co Ltd; 2007
2. Bönninghausen, C V, TBR: The Bönninghausen Repertory, (Japanese version: 2010) Japan: Homoeopathic Publishing Co Ltd; (English version: 2000), Sydney: Southwood Press Pty. Ltd.
3. Hahnemann S, Materia Medica Pura (Japanese version, translated from the original German version), Japan: College of Holistic Homoeopathy; 2010
4. Allen, T F, Encyclopedia of Pure Materia Medica, New Delhi: B Jain Publishers; 2009
5. Cooper, R T, Cancer & Its Homeopathic Treatment with Illustrative Cases, New Delhi: B Jain Publishers; 1999
6. Rademacher, Rademacher's Universal and Organ Remedies (Erfahrungsheillehre), London: Boericke & Tafel; 1909
7. Hahnemann S, Materia Medica of Chronic Diseases (Japanese version, translated from the original German version), Japan: College of Holistic Homoeopathy; 2010
8. Sharma, Y, Spiritual Bioenergetics of Homoeopathic Materia Medica (Japanese version) Japan: Homoeopathic Publishing Ltd; 2011
9. Murphy, R, Lotus Materia Medica, Lotus Star Academy; 1995
10. Banerji P, Banerji P, The Banerji Protocols (Japanese version), Japan: Homoeopathic Publishing Co Ltd; 2013
11. Garland CF, Garland FC, Gorham ED.

Calcium and Vitamin D: Their Potential Roles in Colon and Breast Cancer Prevention

[Internet] Annals of the New York Academy of Sciences. [Cited 2006 February 6] Available from:<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1749-6632.1999.tb08728.x/abstract;jsessionid=F20366D38158E9A8A925C91EA412B232.f01t02?deniedAccessCustomisedMessage=&userIsAuthenticated=false>

著者について

由井寅子博士は、日本のホメオパシーを代表する治療家。彼女のホメオパシーの実践とハーネマニアン原理の研究は、国際的絶賛を浴びている。彼女は、多くのホメオパシーの書籍、論説、翻訳をしている。

編集者の付記

このケースは、体、心、魂をカバーする三次元を考慮に入れたホメオパシーの治療である Zen メソッドによってアプローチされている。感情的側面と感情の抑圧が強調されている。精神的苦痛は、細胞レベルで変化をもたらしながら、進行した病理発展に大きな役割を果たす事が、科学的研究において実際に証明されている。この側面に加え、臨床的側面は、この様に進行した病理ケースにおいて軽視される事はできない。

異なるアプローチやメソッドロジーを使うにも関わらず、好結果をもたらせる数名のホメオパス達が居るという事実において、ホメオパシーは、素晴らしい医学体系である。

このケースや Zen メソッドに関する質問は、以下の Email アドレスでコンタクトを取ることができる：
office@jphma.org